

上越市創造行政研究所（上創研）は、平成12年に設置された上越市役所の組織内シンクタンクです。当市のまちづくりを支援する調査研究機関として、人口データなどの分析や情報提供、フォーラムやワークショップの開催、調査研究による政策提言などを行っています。

Topic 01

谷浜・桑取区で 地域の「これから」を地域の人々で考える 取組が始まりました



アドバイザー
上越市創造行政研究所 藤山所長

上越市創造行政研究所では、人口減少の中でも安心して暮らし続けられる地域を目指し、住民の皆さんと一緒に将来の地域の姿を考える「地区別まちづくり」の取組を進めています。

4月25日（土）、谷浜・桑取区で、この取組のスタートとなる基調講演会が開催されました。講演では、将来の人口見通しや医療・介護の状況などのデータをもとに、地域の現状について理解を深めました。また、全国の先進事例の紹介を通じて、これからの地域づくりのヒントが共有されました。

谷浜・桑取区は、山から海までつながる自然や地域のつながりといった魅力があります。こうした強みを生かしながら、これからの地域のあり方を考えていく第一歩となりました。

今後は、5月からワークショップを開始し、「地域の現状を整理する」「将来の姿を考える」「実現に向けたアイデアを出す」といった話し合いを進め、9月に成果発表を行う予定です。

谷浜・桑取区地域協議会主催
**谷浜・桑取区の
課題、可能性、将来像を
みんなで考える
基調講演会**

住み慣れた場所で
安心して住み続けるために
ここ5年が勝負！

地域でさまざまな活動に取り組む主力世代が70代前半になってきています。この5年のうちにバトンが渡るか？ 健全な高齢者と、将来人口予測や介護保険等データからみえてきた谷浜・桑取の強みを活かした施策、全国に向けて先進事例を皆さんに伝えたい。共に考えます。桑取区ほかで先行実施された「地区別まちづくり推進事業」を谷浜・桑取区で実施する、初回基調講演会です。

お持ち帰ります！

上越市創造行政研究所
所長 藤山 浩

4.25 土 18:00 > 19:30

会場 たにはま保育園 （思い合わせ先）
谷浜・桑取区地域協議会事務局
上越市北部まちづくりセンター
TEL：025-531-1337

料金 無料・事前申込なし

Topic 02

牧区の5地区でワークショップを開催しました(牧づくりプロジェクト)

牧区でこれからも安心して暮らし続けていくために、地区ごとに集まり、普段感じていることや地域の魅力について話し合うワークショップを開催しました。5地区での開催には延べ74人の方にご参加いただき、日頃の暮らしの中で感じていることや、地域の良いところ、これからやってみようことなど、たくさんの声が寄せられました。

沖見地区

浦川原や三和に隣接する玄関口としての立地と、サイクリストも訪れる開放的な景観が強みです。周辺地域との接点となる立地や開放的な景観を生かし、交流人口の拡大に向けた取組の可能性について意見が見られました。雪の利活用など、新たな視点も提示されました。



牧地区

生活機能が集まり利便性がある点が強みとして挙げられました。一方で人口減少や空き家、交通面の課題も共有され、学校や公共施設の活用、暮らしやすさを高める環境づくりなど、地域の中心としての役割に関する意見が多く見られました。



川上地区

星がきれいに見えることや、山菜が豊富であること、人のあたたかさなど、地域の魅力が多く挙げられました。一方で、空き家の増加や一人暮らしの不安、冬の暮らしの大変さ、獣害などの課題も共有されました。共同作業や人が集まる場づくり、山菜を生かした取組など、地域のつながりを生かした活動を続けていきたいという声がありました。



原地区

おいしいお米や豊かな自然、人のつながりの強さなど、日々の暮らしの中にある良さが多く語られました。その一方で、人口減少や担い手不足、農地の維持、地域活動の負担の増加といった課題も共有されました。今後に向けて、空き家の活用や地域の水や自然の魅力の発信など、新たな人の流れを生み出す取組についての意見が出されました。



白峰地区

深山荘を地域のアイデンティティとし、水源の村としての誇りが根付いています。一方で行事や作業の負担、交通や医療面の不安も共有されましたが、高齢化を悲観せず、水稻以外の作物への挑戦や、バックホウを活用した草刈りの省力化など、貴重な資源と景観を守り抜くための技術と発想の転換が議論の中心でした。



今後はこれらの意見をもとに、「どんな暮らしを大切にしていきたいか」「そのためにどんな取組ができるか」を、引き続き地域のみなさんと一緒に考えていきます。

